

シーティング 確認テスト（グループワーク）

第2回 観察のポイントとアセスメント

グループワーク 1

座位姿勢の問題のある利用者を一人例に挙げ、ビデオ内で行ったように観察のポイントを基にアセスメントを行う。

観察のポイント

① 座位姿勢・座位能力の観察

今の座り方は傾いたり、すべり座りになっていないか？
一人で座れる能力や座り直す能力があるか？

② 不良姿勢の影響具合の観察

筋肉の緊張はないか？褥瘡や皮膚の状態はどうか？嚥下状態・呼吸状態は問題ないか？

③ 身体と車いすなどの支持面（支えられている・接している面）の観察

身体のどの部分が支えられているか？どの部分が接触して痛くなりそうか？

④ クッションの利用

どのようなクッションが使われているのか？サイズ・厚みや硬さがあっているのか？

⑤ 車いすの適合性

座面・奥行や高さなどが身体にあっているか？車いすの機能は、利用者の能力に合わせて選ばれているか？

⑥ 机やテーブルの高さの適合性

車椅子や椅子に座って食事をするのにテーブルの高さはあっているか？

⑦ 座位時間・座位活動時間の把握

利用者の姿勢の崩れ、表情、活動状況などから、活動時間、休憩時間、安楽な時間を検討。

グループワーク 2

アセスメントを行った利用者の座位の目的・適切な座位時間を考え、利用者にあった座位姿勢を検討する。